



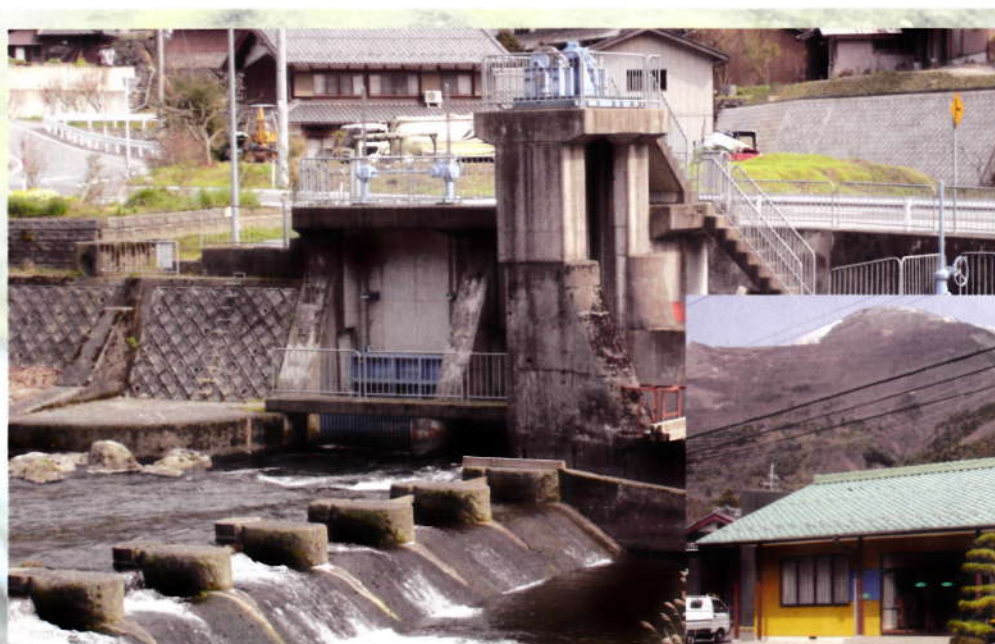
みどり 水土里ネット 姉川沿岸だより

平成21年5月1日発行 **創刊号**

●発行者 姉川沿岸土地改良区 米原市伊吹町596
TEL 0749-58-0068 FAX 0749-58-0068



水土里ネットは土地改良区のアピールです。



姉川合同井堰



事務所

姉川沿岸由来

伊吹山系に源を発して貫流する姉川は幾多興亡の歴史を生み地方文化の開発に貢献して来たのであります。

就中其の自然流水並びに伏流水は電源を初め田用水並に飲料水として姉川沿岸住民の生活は勿論産業開発に食料増産に重大なる関係を有するのであります。然るに客年九月水害によって、この姉川上流の最大井堰である出雲井堰が欠壊し遂に流失するに至ったので、同井堰は伊吹村、大原村、春照村、七尾村、湯田村、長浜市、一市五ヶ村に亘り一万有余反を灌漑受益し往古より出雲井堰をめぐる水利関係にからみ幾多の人名を失い流血の惨をみた人も知る県下屈指の井堰であります。

尚、井堰流失による善後策について、県並びに地方事務所等関係当局の積極的な指導と援助によって井堰関係者数次に亘る協議により、遂に姉川合同井堰促進協議会成るものが立上り当時昭和二十五年農林水産業施設災害復旧事業として国庫補助申請中の処、今回、合同井堰復旧工事として査定された。復旧整備は、戦後経済の自立を一日でも早く達成すべく先人達の苦勞も重ね、県共に昭和二十七年六月設立されその後施設について姉川沿岸土地改良区にもつてその後施設維持管理すべく設立され時代の趨勢も此処で出雲井の前身もたち消えたようです。

じあいのり

理事長 柴田 伊和夫



平素は姉川沿岸土地改良区の運営に格別のご支援ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて私昨年四月役員改選に伴い引続き理事長の大役を仰せつかりその器ではございませんが、組合員皆様様の絶大なご支援ご協力を糧にその責を一生懸命務めさせて頂いております。

去る三月八日第五十九回総代会を終えましたが、逆登る事昭和二十五年のジェーン台風により、旧井堰尽く流失し再起不能に陥り窮乏を県当局に請願され、県営災害復旧事業として採択され復旧に際し十三の井堰を統合し旧来の慣例と上下流の水利権云々を白紙に戻し近代技術を採用入れた科学的分水法により禍根と悔を後世に残さざる恒久的な合同井堰設置に円満なる協定が成立されました。勿論ここに亘る迄には、上下流域の確執は強く或る時は席を蹴って退場され相当な波乱があり、初代理事長の人柱的犠牲により云わば敵同士が一つナ

べをつつく雰囲気も出来たと云われます。往時雨乞い踊に夜を明かし、樽の孔より水滴を終るを待つての分水の労は夢物語りであり、文明十一年(二四七九年)上坂、三田村郷の争には六百人の死者とも云われ年貢米取立が厳しい程水の争奪は激しく先人達の労苦を偲び私達は合同井堰の恩恵に浴する喜びを感謝したいと思えます。

然しながら半世紀を過ぎ施設の老朽は進み、水路は無筋で大きな穴も見られ頭首工は二米中四段の堰角材十四ヶ所を腰までつかりながら調整を行っており管理に危険を伴う為、巻上げゲート形式にと県、工連、米原市、長浜市、改良区の五者に依る検討準備会を設け協議を重ねております。

更新事業の計画策定から事業実施までの企画提案書も出来、多くの問題点も指摘され、その中で受益面積の把握が不可欠との事、圃場整備後の反別調査を法務局の協力のもと二十年度長浜市 二十一年度米原市を総代会にてお認め頂いております。今後検討レベルの資料を作成し受益者、県農政局への説明及び協議資料の更新計画を立て地元受益者、組合員の合意形成が第一と考えており、実施の賛同を得ながら、次世代

に感謝される改修が出来ますようお願いしており、皆様様の建設的なご意見を踏へながら前進して参りたいと考えております。

他に水路の改修は適正化事業により遂次進めており、今年度はストマネ事業により施設の劣化状態の把握、劣化に応じた対策 等機能診断を実施し、水土里グリーン、エネルギー活用事業として幹線水路の流れを利用した発電設備の設置も計画されています。

水土里ネットは土地改良区の愛称で灌漑用水(田用水)の水利権により取水しており需要期を終えれば姉川に戻す事が原則になっております。施設は省エネ経済的で環境自然形成上不可欠なもので、世代をつなぐ農村まるごと保全向上対策等により地域の資源維持、管理、水質、生態系景観等環境面の一戸の向上取組により、地域の誇るべき財産として次世代に引継ぎ育てて頂きたく、厳しい農業状況の中ではご座居ますが格別なるご支援、ご協力を切にお願い申し上げます。



農地と水の守り役
姉川沿岸土地改良区

第五十九回 通常総代会報告

姉川沿岸土地改良区第五十九回通常総代会は、三月八日午前九時三十分より長浜市立七尾公民館一階大会議室で第一選挙区より、松田正雄氏を議長に選出し、総法定数四十五名・理事十八名・監事四名で開催され、議案書が提出されました。平成十九年度事業報告、及び各会計決算並びに財産目録、平成二十一年度事業計画と各会計予算など十八議案が全て議決されました。

総代会提出議案

第1号議案

平成十九年度事業報告及び財産目録並びに一般会計収支決算の承認について

第2号議案

平成十九年度特別会計準備積立金収支決算の承認について

第3号議案

平成十九年度特別会計退職手当積立金収支決算の承認について

第4号議案

平成十九年度特別会計農地転用決済金収支決算の承認について

第5号議案

平成十九年度県営草野川地区ほ場整備事業(姉川分)特別会計収支決算の承認について

第6号議案

平成二十一年度事業計画及び一般会計収支予算の議決について

第7号議案

平成二十一年度一般会計支出予算の款内流用について

第8号議案

平成二十一年度特別会計準備積立金収支予算の議決について

第9号議案

平成二十一年度特別会計退職手当積立金収支予算の議決について

第10号議案

平成二十一年度特別会計農地転用決済金収支予算の議決について

第11号議案

平成二十一年度県営草野川地区ほ場整備事業(姉川分)特別会計収支予算の議決について

第12号議案

平成二十一年度一般会計並びに特別会計組合費の賦課金徴収方法及び期日について

第13号議案

平成二十一年度一時借入について

第14号議案

平成二十一年度農林漁業資金の長期借入及び償還方法について

第15号議案

平成二十一年度役員報酬について

第16号議案

平成二十一年度歳計現金預入先について

第17号議案

平成二十一年度農地転用にかかる決済金について

第18号議案

その他(合同井堰・頭首工)関係について



平成19年度 決算状況

○収入総額(一般会計)	17,674,578円	○支出総額	15,770,019円
内訳		内訳	
歳入		歳出	
賦課金	12,140,960円	事務所費	11,862,877円
繰入金	1,000,000円	維持管理費	2,307,142円
交付金	1,440,000円	積立金	1,600,000円
雑入 その他	1,055,258円	計	15,770,019円
繰越金	2,038,360円		
計	17,674,578円		
○収支差引	1,904,559円		
[翌年度へ繰越]		賦課金徴収状況	
		經常賦課金収入額	12,140,960円

平成21年度 予算状況

○予算規模	収入(一般会計)	26,062千円		
○予算規模	支出(一般会計)	26,062千円		
(特別会計)				
準備積立金	収入額	14,060千円	ほ場整備特別会計(旧浅井地区分)	
	支出額	14,060千円	収入額	2,367,458円
退職手当積立金	収入額	9,170千円	支出額	2,367,458円
	支出額	9,170千円		
決済金積立金(農地転用)	収入額	156,500千円	組合員数	20年度 1,516人
	支出額	156,500千円		

農地転用及び農地の権利移動 組合員の変更通知について

当土地改良区域内の農地等を転用される場合は、土地改良区への報告が義務づけられています。その時に農地転用義務決済金も納入していただくようになっています。

尚、市街化区域においても同様に届出を済ませて頂くようになっています。

また、売買、交換等により農地の権利を移動される場合には、当土地改良区へ資格得喪通知書を提出することが義務づけられています。この報告により翌年度の賦課面積を決定いたしますので必ず手続を取ってください。公共事業の場合も決済金が必要です。

平成21年度単価 全区域田 200円/m²当り

※組合員の死亡等による名義変更・住所移転変更される場合も必ずお知らせ下さい。

平成20年度の主な事業

左岸幹線水路補修(井之口地先一部村居田地先)

283.3m 697万円

平成二十一年度も姉川沿岸土地改良区は、全組合員が「いきいき」と「農業」と「土地改良区」を守る取組みを進めたいと思います。互いに力を合わせて施設愛護の(草刈り作業)等も行い、共に農業用水「生活用水」等を安心して供給するため施設の維持管理事業として今後も制度融資等適用して全施設改修に計画的に進めます。



工
事
中



完
了



特に水質を浄化

姉川は、元来自然水を取込み自然にマッチした水質を有し普通田の場合、代掻きの排水が河川に流入します。この排水には、多量の窒素が含まれています。

こうした窒素がダムのような閉鎖水域に蓄積され、富栄養化の一因となります。特に琵琶湖で赤潮、あおこ、カビ臭とさまざまな水質事故が発生しています。生活、畜産、工業排水と共に農業排水も大きな原因の一つです。

当改良区としても、みどりネットと相俟って清流を守り育むことを目的としています。

役員名簿

自平成20年4月1日～至平成24年3月31日

(議席順)

役職	氏名	住所	役職	氏名	住所
理事長	柴田 伊和夫	長浜市東上坂町	理事	千代鶴 直徳	長浜市春近町
筆頭理事	松田 義一	米原市伊吹	"	堀田 馨	米原市市場
理事	堀内 文孝	米原市天満	"	伊吹 直之	長浜市野村町
"	大塚 正行	長浜市保多町	"	千田 捨藏	米原市井之口
"	寛 正光	長浜市相撲庭町	"	清水 惣七	長浜市堀部町
"	大久保 恒雄	米原市間田	"	杉山 泰信	米原市小田
"	滝本 勇	米原市伊吹	"	坪井 文隆	米原市朝日
"	伏木 衛	長浜市西上坂町	代表監事	野一色 嘉孝	米原市野一色
"	井上 清実	長浜市佐野町	監事	山口 利平	長浜市西上坂町
"	川崎 孝	長浜市垣籠町	"	伊富貴 幸雄	米原市伊吹
"	岡田 勉	米原市村居田	"	今莊 定兵衛	長浜市今莊町

総代

自平成20年7月27日～至平成24年7月26日

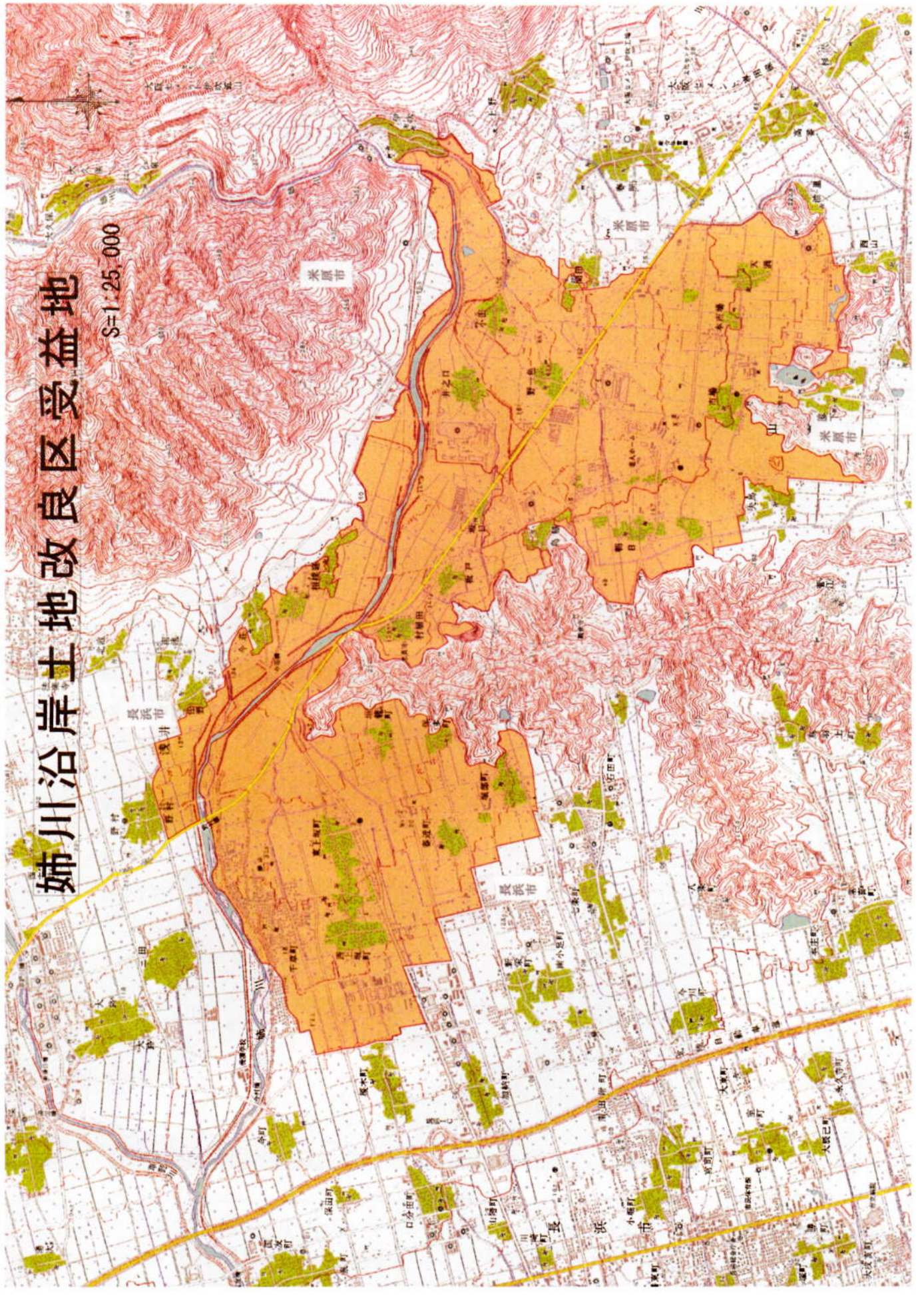
役職	氏名	住所	役職	氏名	住所
第1区	森口 二郎	米原市伊吹	第1区	杉山 正之進	米原市小田
"	堀川 宏	米原市伊吹	第2区	岩田 俊美	長浜市相撲庭町
"	三原 直吉	米原市春照	"	佐分利 良隆	長浜市相撲庭町
"	松田 正雄	米原市間田	"	堀井 三郎	長浜市今莊町
"	横田 孝一	米原市間田	"	佐野 昭夫	長浜市佐野町
"	鈴木 繁二	米原市天満	"	田中 政美	長浜市野村町
"	鈴木 喜義	米原市天満	"	多賀 寿博	長浜市野村町
"	村田 米造	米原市本市場	第3区	矢野 貫城	長浜市春近町
"	本郷 昭樹	米原市市場	"	河崎 廣次	長浜市春近町
"	堀田 和宏	米原市市場	"	森 義孝	長浜市石田町
"	佐々木 利信	米原市池下	"	間塚 五雄	長浜市堀部町
"	藤田 善朗	米原市夫馬	"	呉竹 敏一	長浜市堀部町
"	田中 隆三	米原市朝日	"	大塚 忠夫	長浜市保多町
"	戸田 誠一	米原市朝日	"	大塚 清司	長浜市保多町
"	谷口 泉	米原市鳥脇	"	川崎 泰男	長浜市垣籠町
"	岡島 善隆	米原市坂口	"	川崎 薫	長浜市垣籠町
"	塚本 靖	米原市村居田	"	田中 日出夫	長浜市東上坂町
"	塚本 幾雄	米原市村居田	"	池崎 忠司	長浜市東上坂町
"	池田 富和	米原市井之口	"	奥川 雅一	長浜市西上坂町
"	清水 信和	米原市井之口	"	原馬 正有	長浜市西上坂町
"	野一色 庄市	米原市野一色	"	花澤 久雄	長浜市千草町
"	野一色 守道	米原市野一色	"	西尾 寛久	長浜市千草町
"	姉川 宗太郎	米原市間田(小田)			

平成21年 水利委員名簿

自平成21年4月1日～至平成22年3月31日 1年間

(順不同)

氏名	住所	氏名	住所
伊富貴 寿重	米原市伊吹	寛 太津郎	長浜市相撲庭町
鈴木 兵衛	米原市天満	井上 清実	長浜市佐野町
野一色 守道	米原市野一色	青木 甚浩	長浜市春近町
北村 揚俊	米原市市場	堤 保範	長浜市保多町
山中 一郎	米原市村居田	藤居 光誉志	長浜市西上坂町



施設の紹介

井之口円形分水

湖北エコミュージアム
伊吹田園空間博物館 集記



井之口円形分水は、出雲井と小田分水を経由した水を分水する農業水利施設です。円形の中央部より水が噴き出す構造で、これは上流の小田分水との水位差によるものです。【円形】という特徴的な形をしているのはなにより公平な水の分配を考えた結果といえ又細部の仕上げとしても、丁寧で公平な分配をかなり意識している様子が伺えます。

小田分水は、中世からある出雲医井掛かりの水路を3つに分水する農業水利施設で昭和28年に現在の形に整備されました。

それ以前は、2つに分水されていましたが、水の分配に対する論争が絶えなかったといわれています。

少し複雑な形状となっていますが貴重な水をより公平に分配するための先人達の知恵がいかされています。

小田分水

湖北エコミュージアム
伊吹田園空間博物館



編集後記

本年度より当改良区も新しく広報担当理事として4名でもって発足しました。年間1乃至2回程度発行致しますので宜しく。今回第1回目発行